

極上金髪と

留学生と

国際交流

Hな

ごくじょうきんぱつりゆうがくせいと
えっちなごくせいりゆうしちやいました。

ちびちび
おしゃべり

PRESENTED BY
三サオ





センセイ!
失礼シマース!



エミリー
何か用かい?



ひよっとしてまた
授業でわからなかった
ところを聞きに
きたのかな?

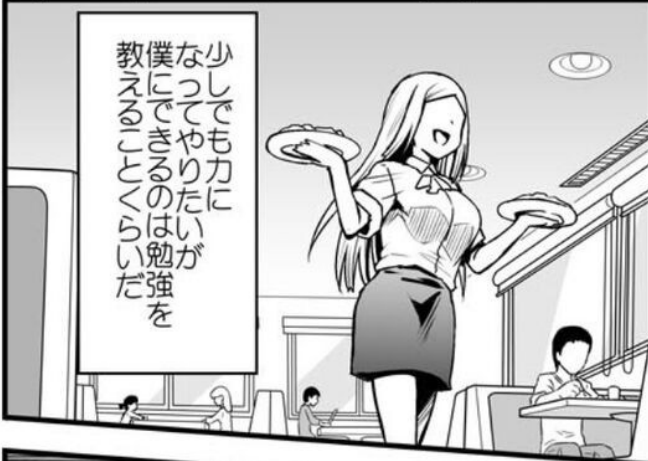
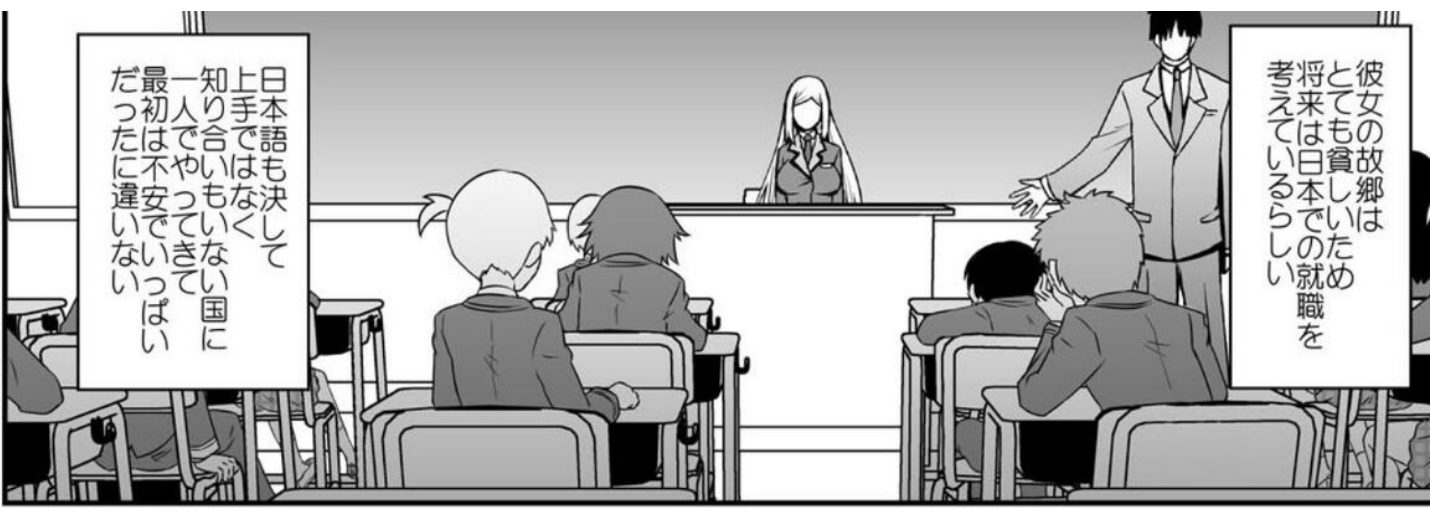
ハイ♪

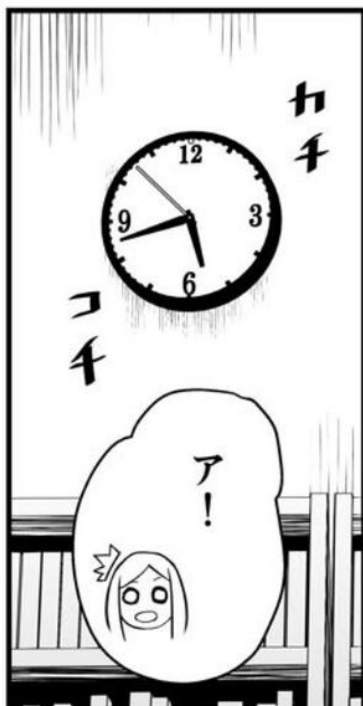
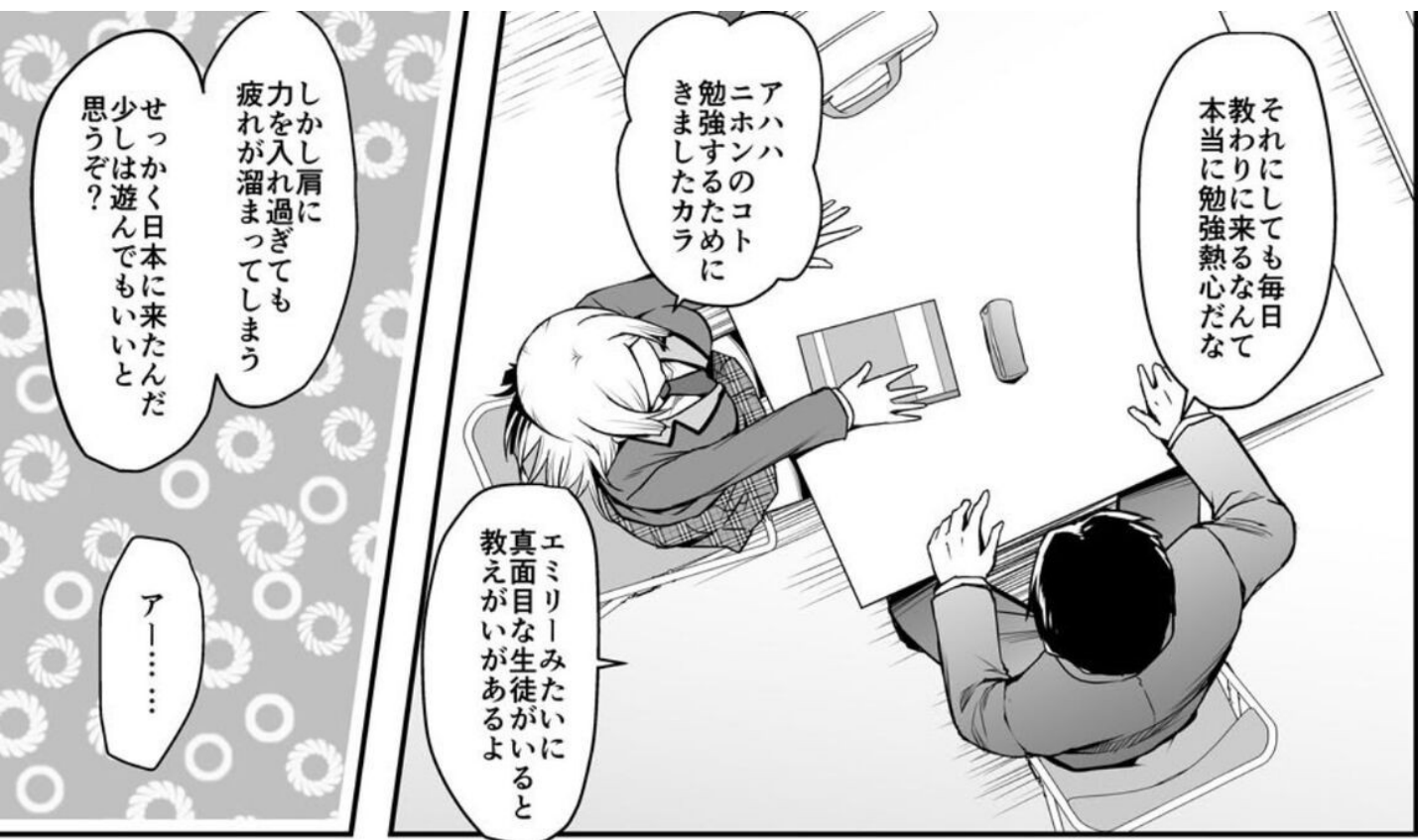


どこが
わからん
だい?

コレと
コレ!

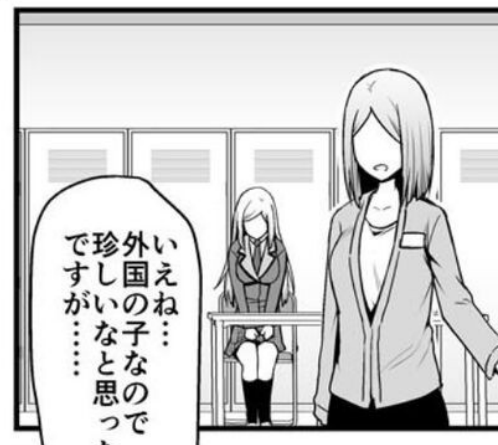
彼女はエミリー
外国から海を渡って
日本のこの学校に
留学生として
やってきました

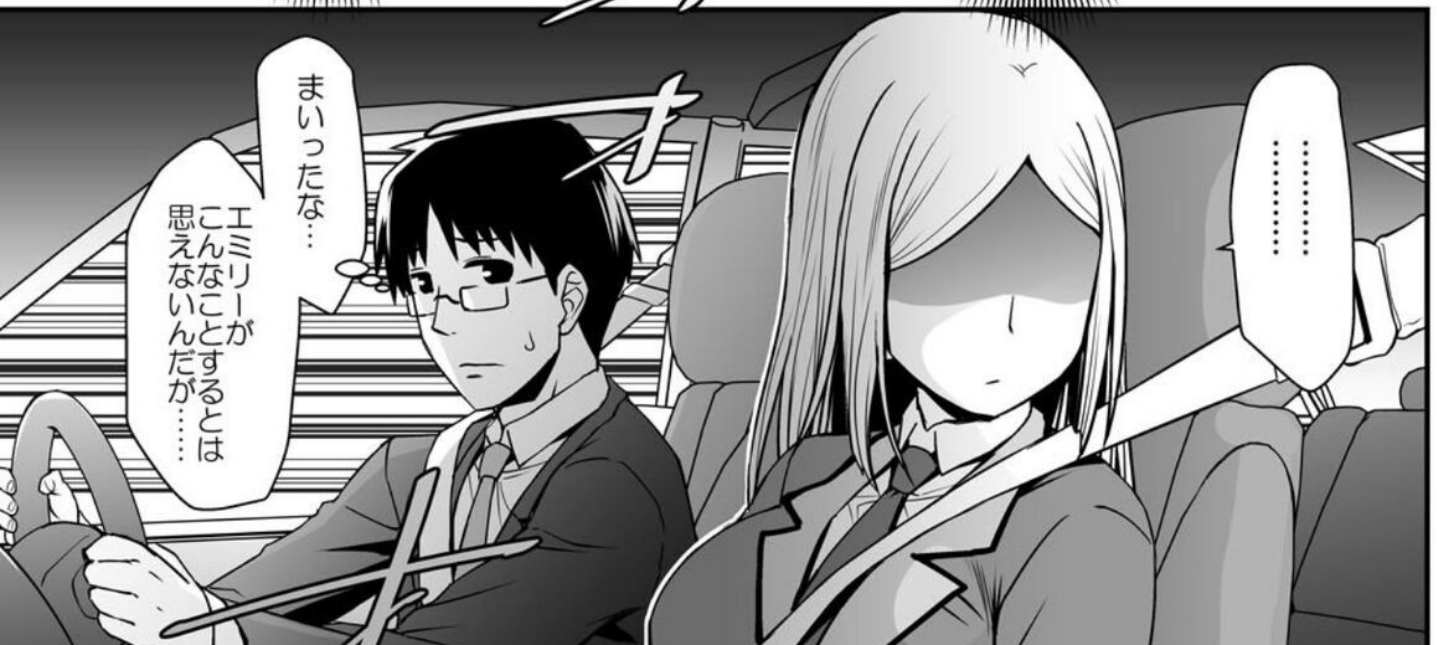


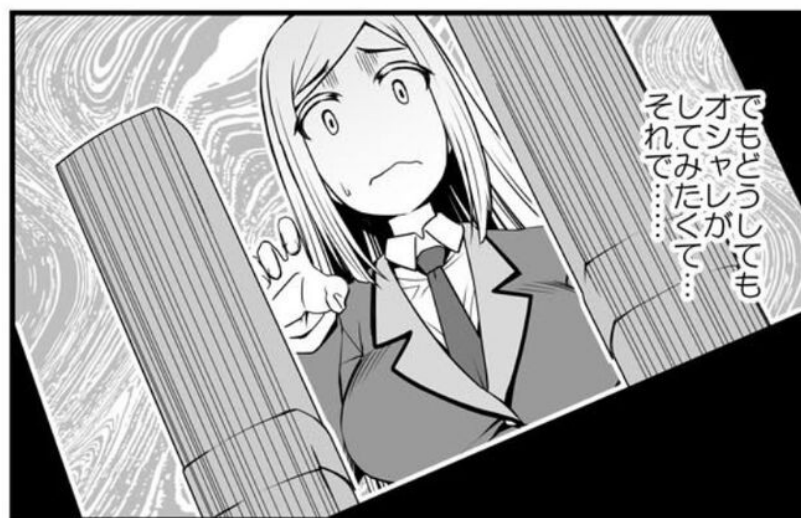
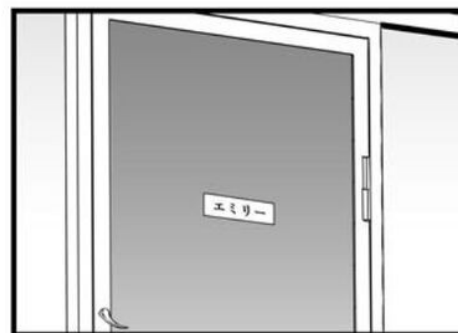


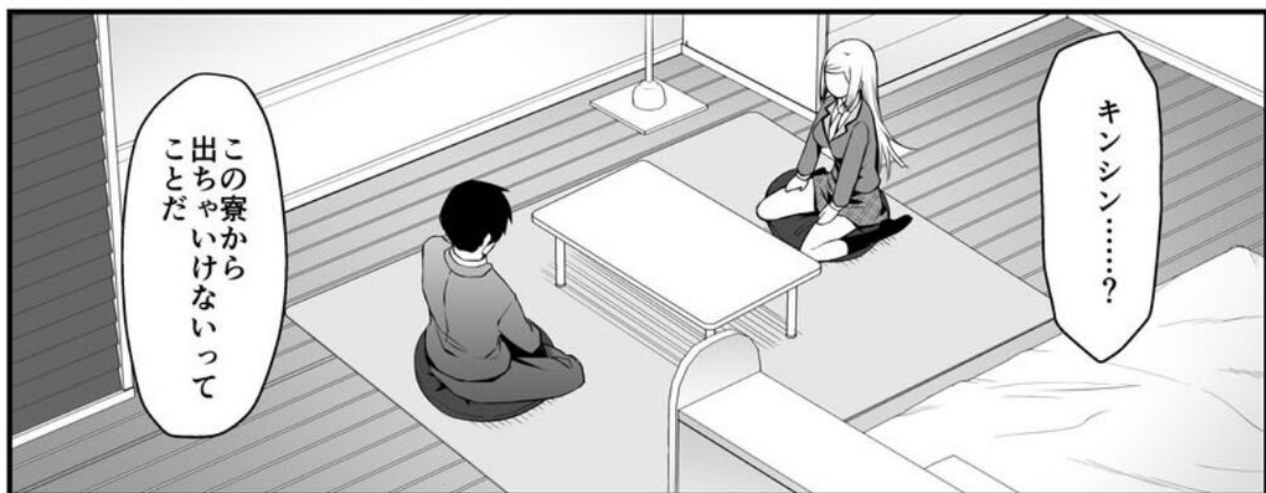














バイトできないと...
生活も仕送りも
出来なくなりマス...!

お願いシマス
センセイ...
学校には言わないで...!!

.....!

おにっ♡

いっ



だっダメだ!
報告だけは
しなきゃならない

その後のことは
これからまた
考えよう.....

!

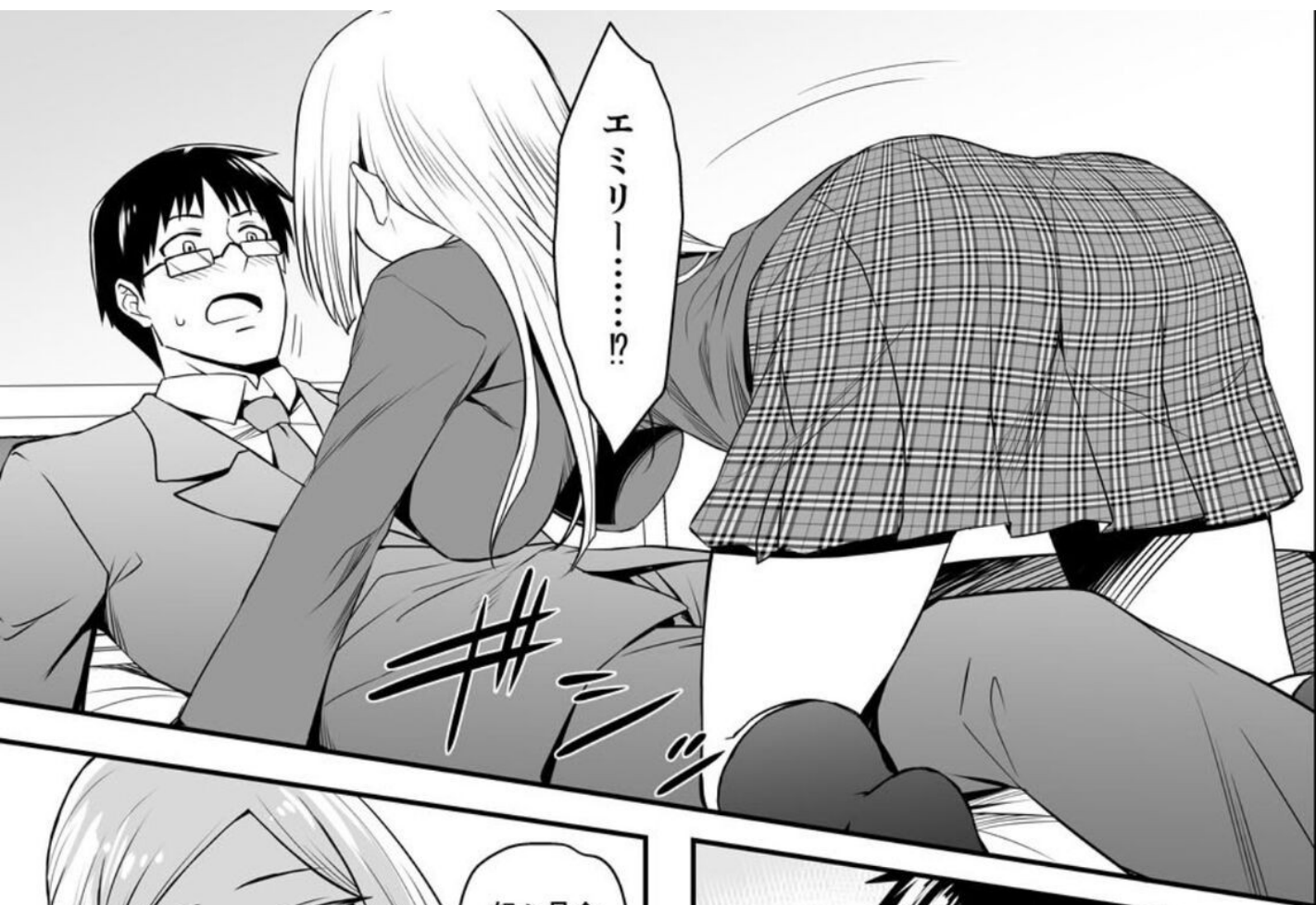
どき
どき



わっ!



どき
どき



エミリー……!!



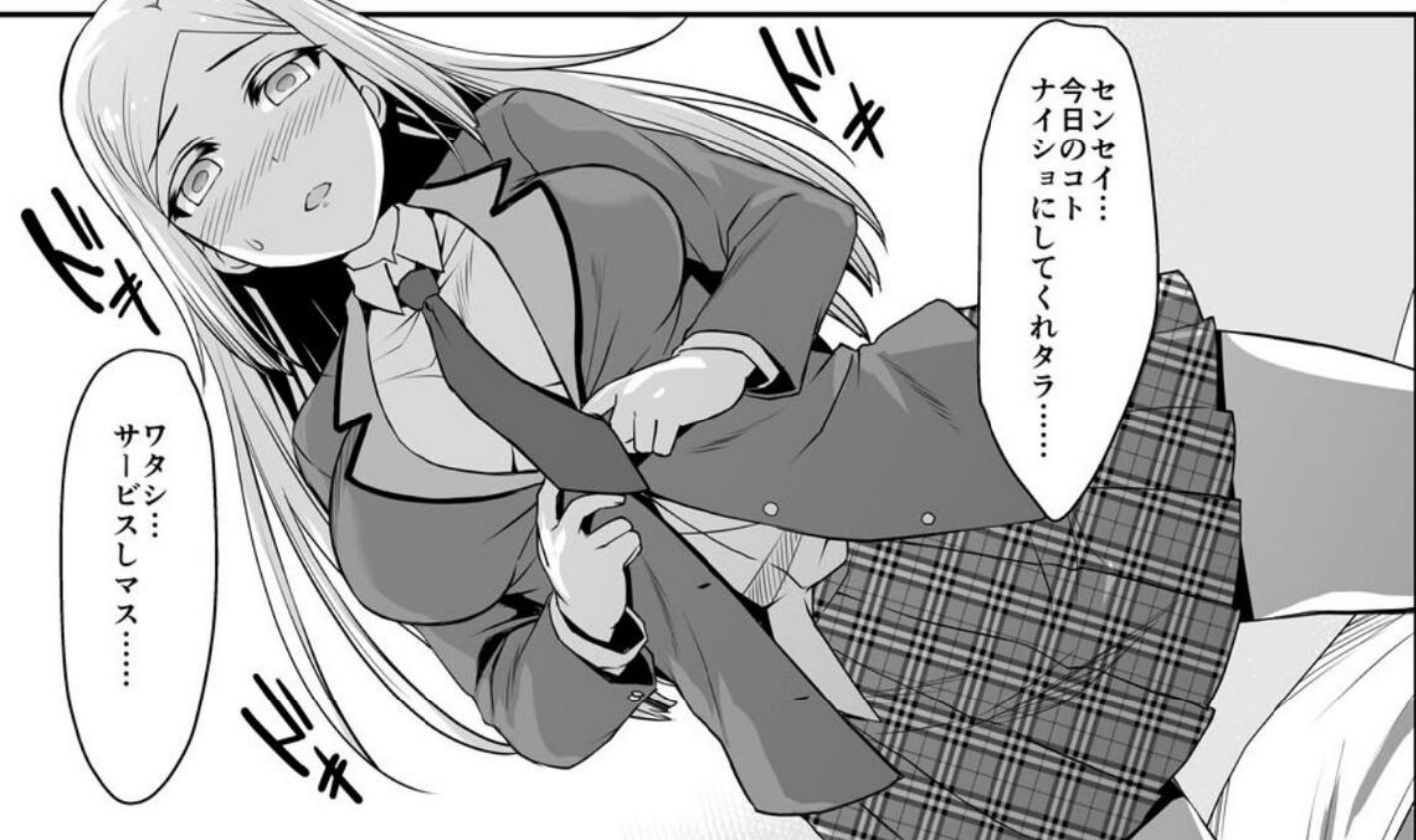
ダカラ
静かニ……

今ココをミンナに
見られタラ……
センセイも
怒られマス……



シッ……!

なっ……何を……!



センセイ……
今日のシヨト……
ナイシヨト……
にしてくれタラ……

ワタシ……
サービスシマス……

ばっ…バカなことを！
やめなさい！

センセイ…
サッキ…

ワタシのオツパイ…
意識してマシタ…

ワ…

ワタシで
良かったラ…

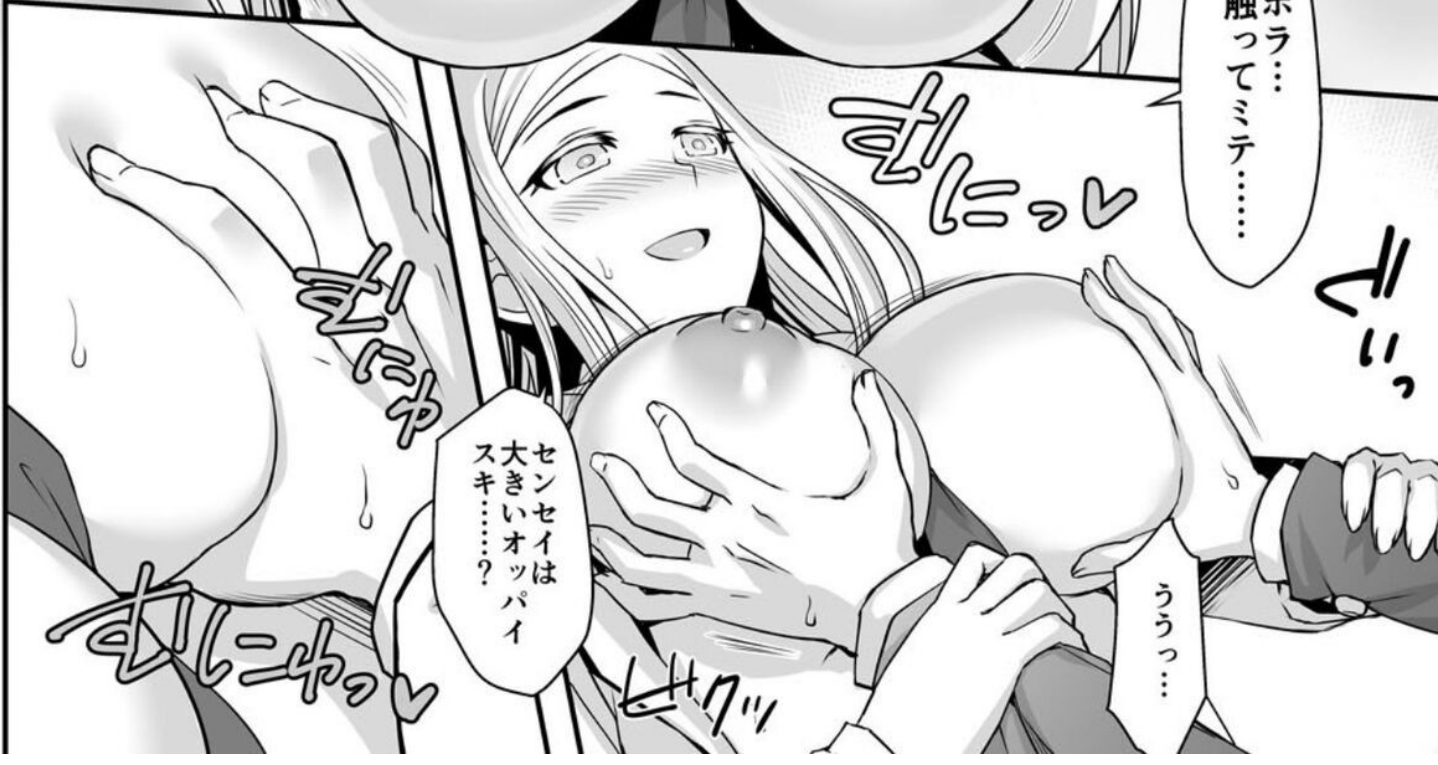
好きにシテ…
クダサイ…

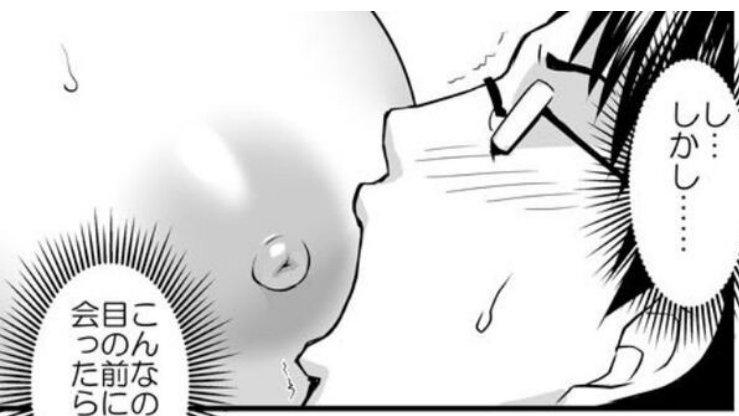
!!

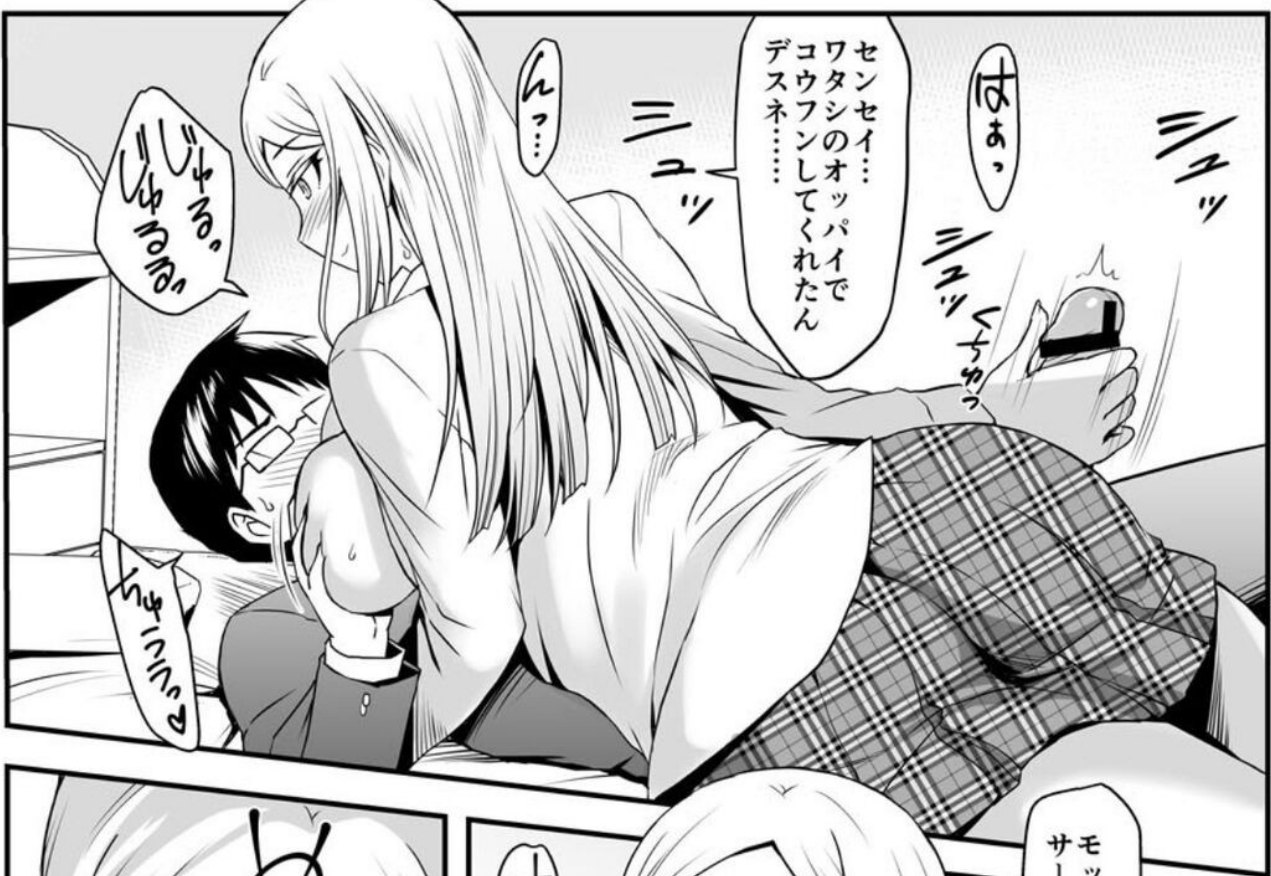
ホラ…
触ってミテ…

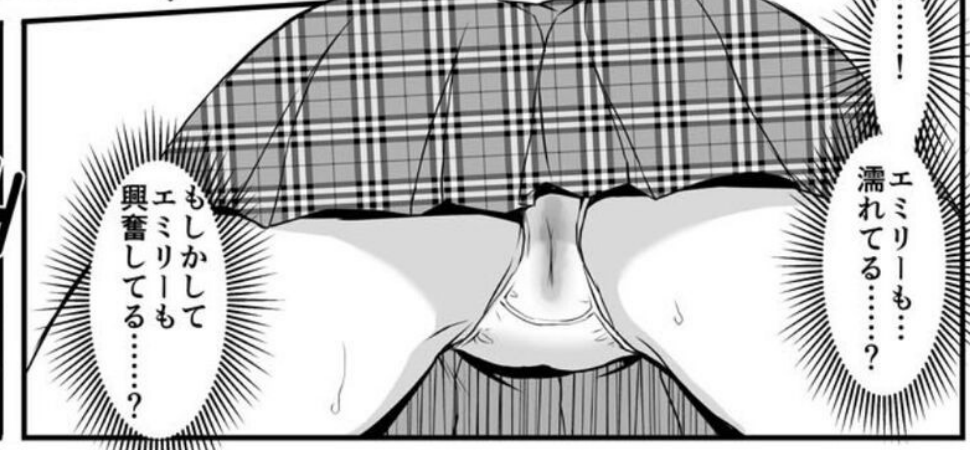
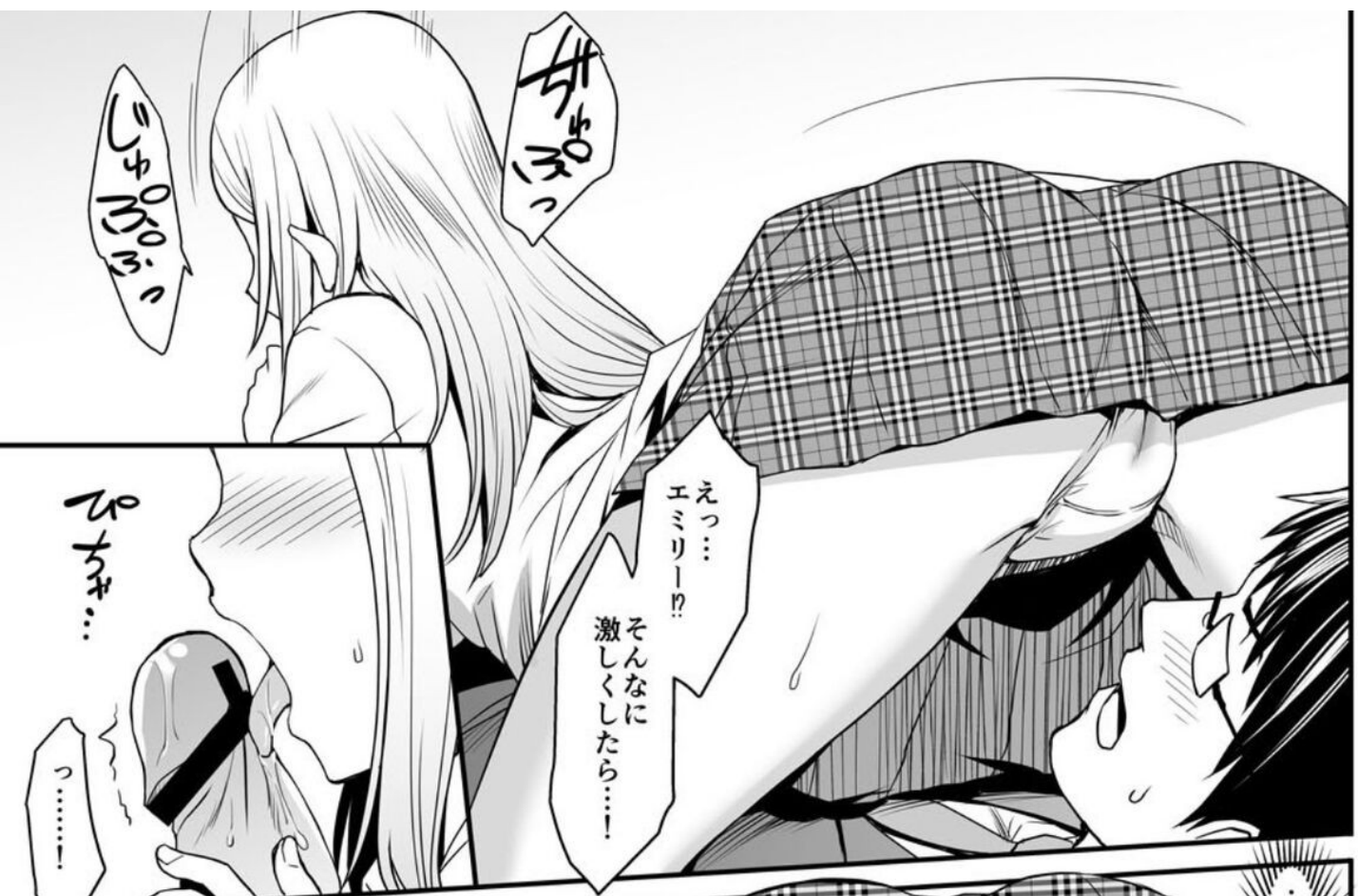
センセイは
大きいオツパイ
スキ…？

うう…





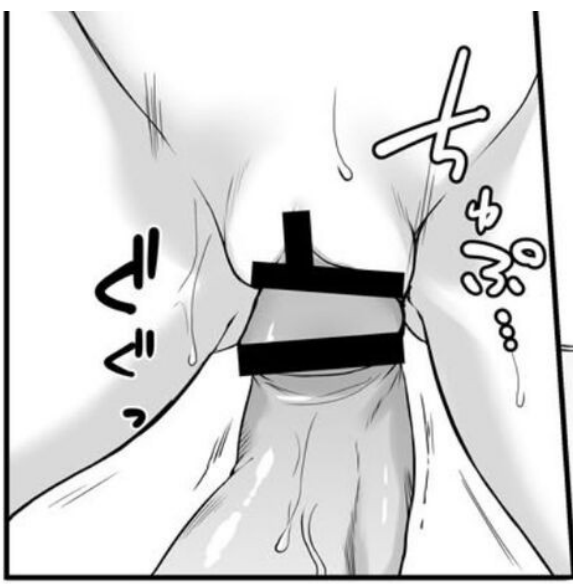






センセイ
まだ大きいママ……

コッチならマンゾク
してくれマスク……？





無理をするんじゃない！
分かったから！
今日のことは……

はぁ

はぁ

…アリガト
センセイ……

んっ

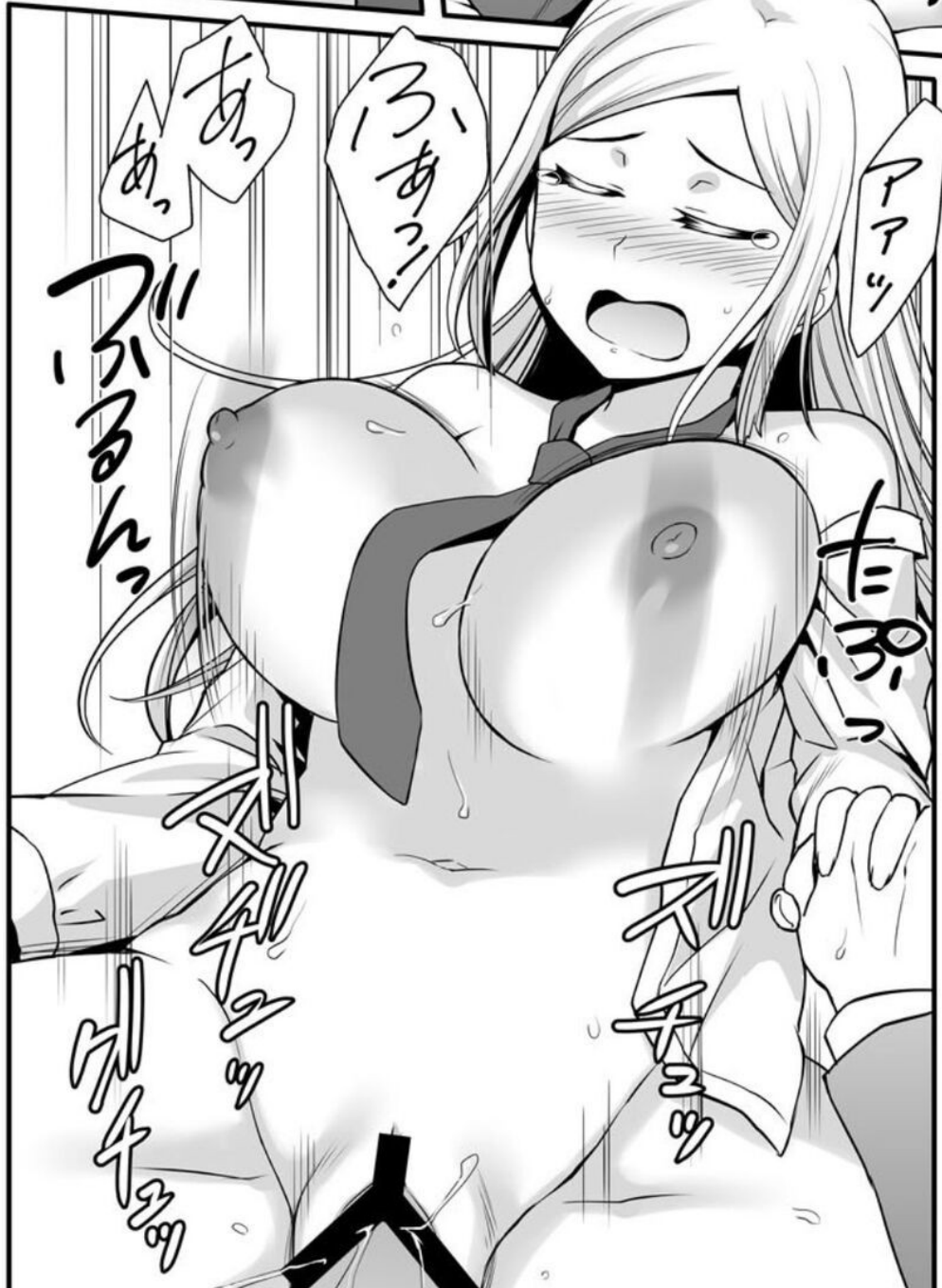
アッ

はぁ

はぁ

はぁ

はぁ



アアッ

はぁ

はぁ

はぁ

はぁ

はぁ

はぁ



デモ…だからこそ
最後までするヨ……

ス…

センセイがマンゾク
するまでサーピス
してあげマス……



せっ!!
センセイ……

ワタシの
カラダ……
気持ちイイ……?

せっ!!
おはっ!!
おはっ!!



ホ……
ホント……?

センセイが
喜んでクレテ
ウレシイ……♡



ああっ……
気持ちいいよ……!!

アッ!!

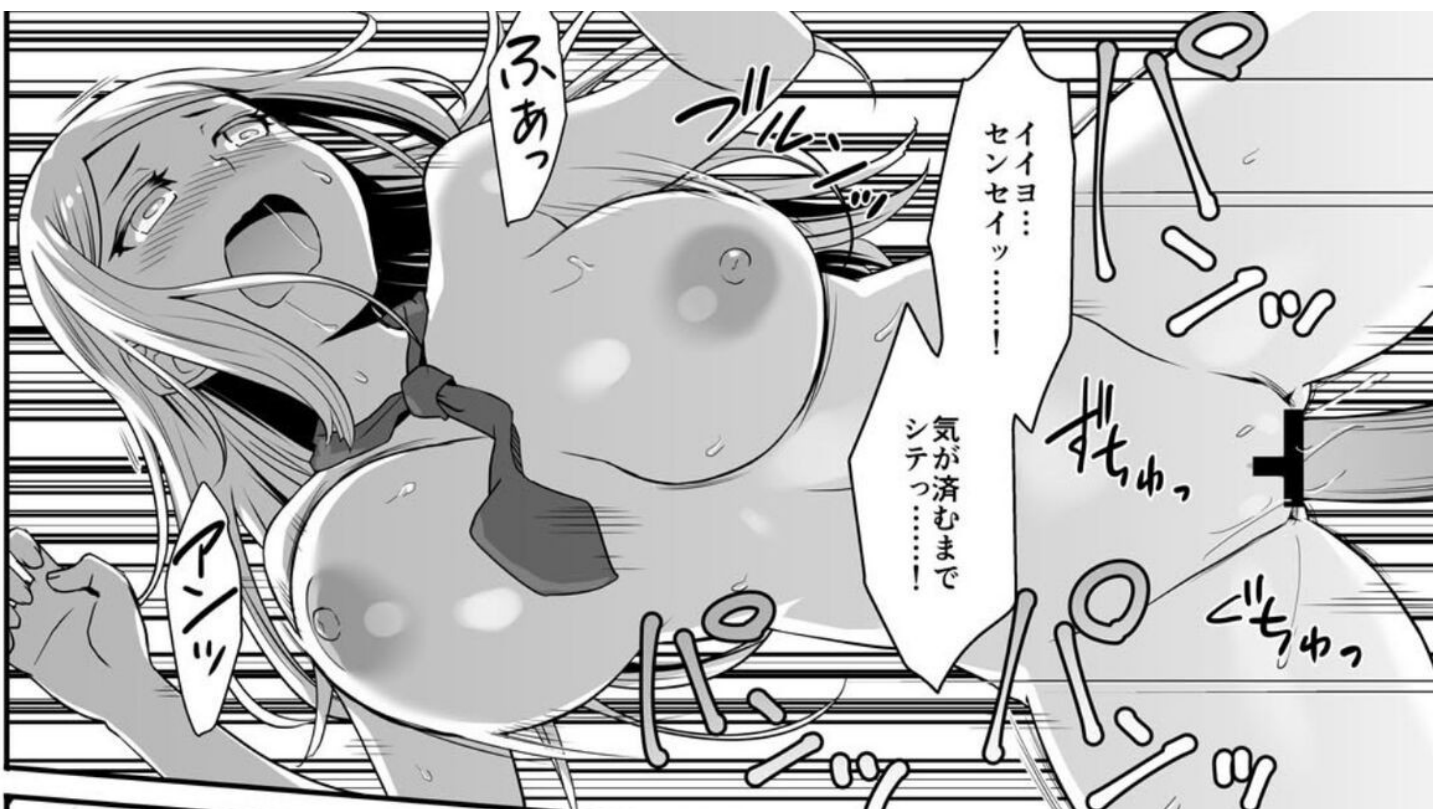
アアッ!!

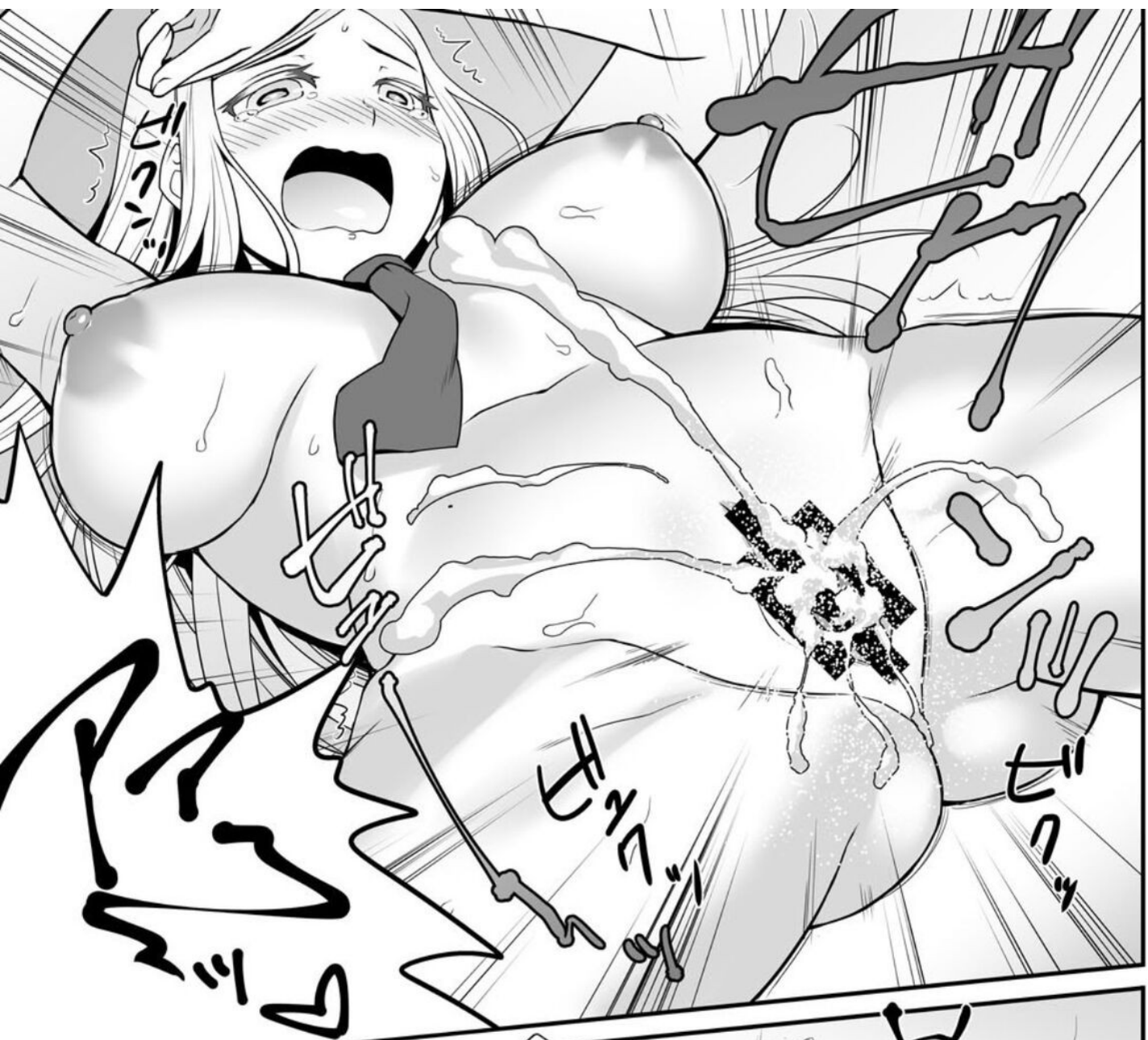


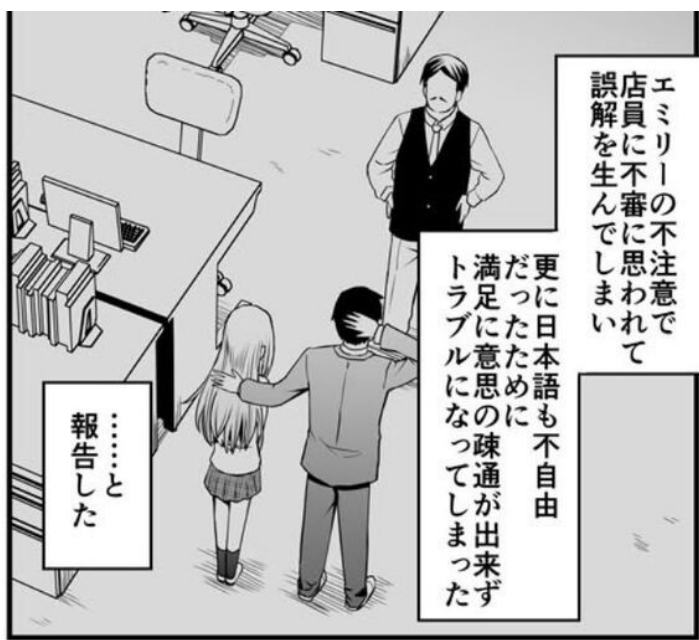
最高だ……!

エミリーの……
僕に絡みついて……

おはっ!!
おはっ!!







翌日
学校には

エミリーの不注意で
店員に不審に思われて
誤解を生んでしまい

更に日本語も不自由
だったために
満足に意思の疎通が出来ず
トラブルになってしまった

……と
報告した



エミリー同様
僕のことも
教師として当然褒められた
ことでは無い

それでもエミリーの
生活が守られたことに
安堵している
こんなことは二度と
起こらないように
しなくては



……と
まあ……
そういうわけ
なんだが……

エミリー



ハイ？



タイトル：極上金髪留学生と
Hな国際交流シちゃいました。

著者：ミサオ

発行：一彩出版